

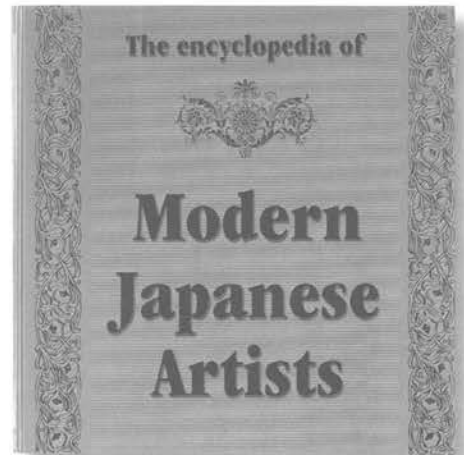
日本を代表する近代作家 30 名に選出 黒田清輝、横山大観、東山魁夷らと共に

本誌の昨年 5 月号で、「石都・岡崎」を拠点として石像・石仏等を精力的に制作する石彫家、長岡和慶師（大仏師）を取り上げた書籍を幾つか紹介したが、今回はその続編となる第 2 弾。海外向けの国際書籍と美術情報誌（2 冊）、美術作家年鑑一以上 4 冊を紹介する。とりわけ下記の国際書籍で、明治以降に活躍した名だたる作家 30 名の一人に和慶師が選ばれたことは特筆に値する。日本のものづくりが海外から注目されることで、日本人が国産材や国内加工を見直すきっかけにもなるだろう。

彫刻家
長岡和慶

The encyclopedia of Modern Japanese Artists (近代日本美術総覧)

本書は、明治・大正・昭和・平成・令和の時代において日本を代表するに相応しいと認められた作家を厳選し、海外へ紹介することを目的とした国際書籍（洋書）。世界 12 カ国の国際美術評論家により構成される世界基準国際芸術文化協会の監修のもと、2011 年より概ね隔年で発刊されている。本書 2020 年度版では、川合玉堂や黒田清輝、竹久夢二、東郷青児、東山魁夷、横山大観など名だたる作家が名を連ねており、その 30 名の一人に和慶師が選ばれた（現存者は和慶師を含め 2 名のみ）。1994 年に制作された「十一面観音菩薩座像」（奈良・東大寺二月堂）と共に掲載されており、「個性的で優れた作家として知られ、作品は世界中で注目と評価を得ている」などと紹介されている。



発行元：(株)アートジャーナル社
体裁：洋書（265 × 265 mm）。オールカラー 40 頁
（全文英語表記）
掲載作品：十一面観音菩薩座像（東大寺二月堂）
発行：2020 年 10 月

Art Journal Vol.102-103

本書（季刊発行の美術情報誌）102号では「秋の実力作家総特集」と題して、第60回日本藝術選奨大賞の結果を発表。和慶師は、その彫刻部門大賞に選ばれたほか、世界基準国際芸術文化協会（前出）より最も高く評価された彫刻家1名に授与される飛鳥金剛芸術賞の受賞者として紹介されている。

また同103号は「2021年新春秀鋭作家特集号」と題し、その中で芸術の殿堂（ホール・オブ・フェイム）に登録された、歴史的に重要な芸術家「世界芸術殿堂作家」の一人としても紹介されている。



蹴鞠の石像（103号）



発行元：（株）アートジャーナル社
 体裁：A4判変形、256頁（Vol.102、103）
 掲載作品：嶺月観音菩薩立像（岐阜・ト雲寺）、平和地藏菩薩立像（滋賀・延暦寺）、創作・吉鳥フクロウの親子と少年像（静岡・方広寺）、創作・童観音菩薩倚座像（福島・妙高院）
 =以上102号、蹴鞠の石像（京都府立京都スタジアム）= 103号
 価格：2,200円（税込）
 発行：2020年9月（Vol.102）、2021年1月（Vol.103）

【4点】本書102号に掲載されている嶺月観音菩薩立像（上右）と平和地藏菩薩立像（上左）
 右は創作・吉鳥フクロウの親子と少年像



2021 画廊・コレクターが推奨する 現代人気美術作家年鑑

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の分野で活躍する美術作家を対象とし、和慶師は人名録と共に、「現代人気作家特選ギャラリー」（彫刻・工芸部門）の一人として紹介されている。和慶師の評価額は等身大胸像で1,200万円とある。

発行元：美術の杜出版（株）
 体裁：A4判変形、732頁
 掲載作品：慈母観音菩薩立像（福岡・妙香庵）=右、
 法道仙人立像（京都・観音寺）、創作・ぼっくり
 童十一面観音立像（神奈川・三樹院）、創作・地
 蔵菩薩半跏座像（愛知・三ヶ根山）
 価格：5,500円（税込）
 発行：2021年2月

